

リーブラ便り

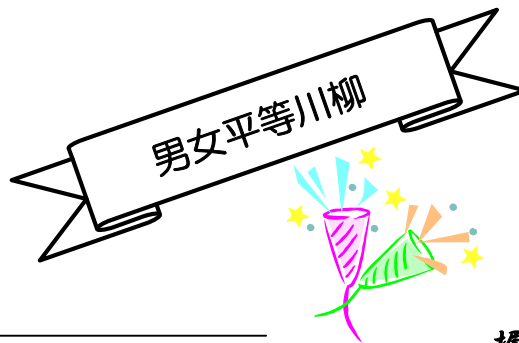
2011年11月号 VOL. 30



リーブラのマークは、「男女平等」の願いをこめた「てんびん座（リーブラ）」をモチーフにしています。

目次

- 1. 男女平等川柳
- 2. リーブラに小学生がやってきました！
- 3. 講座案内（リーブラ主催講座）
- 4. 講座報告（学習活動支援講座）
- 5. 講座報告（リーブラ主催講座）
- 6. 運営協議会
- 7. リーブラ相談室
- 8. 男女平等参画情報
- ★別紙 11月の新着図書ご紹介



最優秀賞

いつからか同じ減りする妻の靴

梶政幸

優秀賞

女でしよ言いかけてハッとしてる母

角森玲子

「手伝う」をやめて今日から「僕がやる」

呑気呆亭

綺麗だね 色とりどりの ランドセル

まち

雑草も 男女差別も 摘み取ろう

よし得

外見の美は一瞬だ自己を持って

ブルーウーマングループ

1. 男女平等川柳

10月28日（金）、8月より募集を呼びかけた「リーブラ男女平等川柳」を締め切りました。92名の個人と2つのグループから応募総数386作品がありました。リーブラのホームページでの呼びかけに、北は北海道から南は九州まで日本全国から多くの応募があったことは、うれしい驚きでした。

男性の家事の取り組みについて、女性の社会進出についてなど、私たちの社会に根強く残る性別役割分担意識やそれに基づく習慣、また社会における多様性を推進する内容などが、五七五のことばのなかに表現された様々な作品が集まりました。

最優秀賞には、男性の目線で女性の仕事の苦勞をあたたく察する様子が描かれた作品（右上）が選ばれました。昨今イクメン・カジダンなど男性の家事への参加がメディアなどでも取り上げられていますが、男性が家事に参加することを特別扱いするのではなく、日常の中で互いの変化に気づく優しい心遣いが表現されています。予想を大きく超える数の作品が集まったこと、優秀作品の他にも味わい深い作品がたくさんあったことから、優秀6作品以外にも、佳作9作品（賞品なし）を選びました。佳作については、館内掲示でご紹介いたします。

これからもリーブラでは楽しく男女平等を理解し、身近な問題として関心を広める取り組みをしていきます。

2. リーブラに小学生がやってきました！ 9月28日

芝浦小学校2年生・33名が「芝浦港南地区総合支所」の見学にきました。

総合支所の仕事紹介、消費者センターの仕事紹介、リーブラの仕事紹介、施設見学で約2時間。リーブラからはメッセージとして次の2点を伝えました。①男の子・女の子に関係なく、ひとりひとり、みんながお互いに認め合い、力をあわせましょう。②ひとりひとり自分らしさやもっている力をいっぱい出すことができる未来を創りましょう。その後、コーディネーターが「リーブラ」の意味をあてる下記のクイズを実施。みんな一生懸命手をあげて答えてくれました。

またいつの日か、リーブラを思い出し、訪れてくれることを願っています。



<リーブラ3択クイズ>

リーブラとはどういう意味でしょうか？

- ①なかまはずれ
- ②てんびん座
- ③てんぷら



施設見学でメモをとっています！

3. 講座案内 (リーブラ主催講座)

災害と女性・人権 リーブラシンポジウム 「福島の女性たちの現状と課題」

- 日時：12月3日(土)
13:30~17:30
- 会場：5階 ホール
- 内容
第1部：報告「福島県の女性支援」
全国女性相談研究会
第2部 講演「被災下での女性支援
はなぜ必要か」
講師：竹信三恵子さん
東日本大震災女性支援ネット
ワーク共同代表
第3部 パネルディスカッション
パネリスト：竹信三恵子さん
全国女性相談研究会メンバー
- 参加費：無料
- 対象：どなたでも
- 申込：電話・FAX・メール・窓口にて

女性と起業 「女性社長に聞く！生き方、会社の 作り方～300人の女性社長たちの 経験から学ぶこと～」

- 日時：12月6日(火)
18:00~20:00
- 会場：4階 集会室
- 講師：横田響子さん
(株式会社コラボラボ社長、「女性
社長.net」編集長) 著書『女性社長
が日本を救う！』
- 内容：女性経営者支援の事業を展
開し、2009年より女性社長が300
人参加するイベント(J300)を主
催する、株式会社コラボボ代表取
締役の横田響子さんから、ご自身の
起業経験や、日本の女性社長たちの
起業と経営の実例を紹介していただ
きながら、実際の起業に役立つ必要
な知識と心構えを学ぶ。
- 参加費：無料
- 対象：女性の起業に関心のある方。
- 申込：電話・FAX・メール・窓口

「ふらっとリーブラ」1月 ～絵本と手遊びの巻～



- 日時：1月27日(金)
- 時間：13:30~15:30
(時間内出入り自由です)
- 会場：4階 学習室C
- 内容：リーブラ所蔵の絵本の紹介
と、お子さんと一緒にできる手遊び
を紹介します。
- 参加費：無料
- 対象：小学生以下のお子さんがい
る方(お子さん連れで参加できま
す)や、地域活動などで子どもと接
する機会のある方
- 申込：電話・FAX・メール・窓口
- 保育：あり・無料 ※要予約
(1歳から未就学児まで)
保育締切 1月13日(金)

4. 講座報告 (学習活動支援事業)

- 【ダンスムーブメントセラピー】
「わたしを解き放つ」
指導：カムラアツコさん
主催：特定非営利活動法人ヒュー
マンサービスセンター
- 実施日：10月2日(日)
10月9日(日)
- 参加者数：1回目15名
2回目12名

もっと多くの人にダンス・ムー
ブメント・セラピーを体験してほ
しい、そして繰り返し体験してい
くことで、心身の回復や解放を実
感してほしいと企画した。

参加者のアンケートでも、新鮮
さ、楽しさと気づきが語られてい
る。ゆっくりと丁寧な身体ほぐし
から入り、自分という全存在を確
かめ、いつくしみ、他の人とかか
わるワークで、生きるエネルギー
が身体の中から湧いてくる、その
体験をみんなで分かち合う、そん
なワークショップである。

もうひとつの魅力は、日本で
ウーマンリブに加わり、イギリス
でフェミニストとして生きてきた
カムラさんに触れることで、日本
社会での女性としての「とらわ
れ」から解放されることだ。

(深澤純子)

「豊田直巳写真展とお話会<イラク
戦争と劣化ウラン-今も続く被害者
の苦しみ->」

主催：劣化ウラン廃絶みなとネット
ワーク

- 実施日
展示10月16日(日)~30日(日)
お話会 10月22日(土)

今年は豊田直巳氏をおよびしての
写真展とお話会を開催した。私た
ちがリーブラで写真展をやるよう
になって8年になる。劣化ウラン弾の
被害者の悲惨な写真も多く展示し
てきた。見るのがつらくなる写真も多
いと思う。

しかし、今年は福島第一原発が地
震で破壊され、水素爆発を起こし、
大地や海や多くの人びとが、放射能
で汚染されている現実を考えて、お
話し会の副題を<イラク・チェルノ
ブイリ・フクシマを結び線>とした。
共通項は放射能である。イラクは劣
化ウラン弾で爆撃され、チェルノブ
イリと福島は原発の放射能。廊下を
通る人が立ち止まり目をそむけず
見てくれているのを目にして苦労も
吹っ飛んだ。

- ノーモア・フクシマ
ノーモア・チェルノブイリ
ノーモア・暴力と戦争

(宮口高枝)

あなたにもきつとくる
お一人様の住まい方

講師：樋口恵子さん
主催：NPO法人 男女平等参画推進
みなと(GEM)

- 実施日：10月29日(土)

一人になっても社会の構成員とし
自立した人生を自分らしく生きてい
くために何をすべきか、個々に
よって生き方に違いはあるが積極的
に社会とのかかわりを持ち「無縁社
会から有縁社会」へ飛び込んでいく
重要性を、講師の体験と現代の状況
から知ることができた。また高齢社
会は女性の自立だけではなく男性の
自立も問われる社会であると強く訴
えていた。具体的に男女平等の大切
さを、介護・地域社会のかかわりな
ど事例を挙げて話された。

予定人数を超える申込みがあり、
参加者の感想・傾向として、お一人様
になったときの不安と心配、確実に
高齢者を迎えている現状、そして今、
自分のまわりで起きている事柄を現
実のものとして感じ、健康であるこ
との大切さや社会制度を知ること
で、社会と前向きに関わることで
あるかもしれない、社会の一人として
自立した生活を送って長生きしたい
という自信に結びついたようだった。
(南かほる)

5. 講座報告（リーブラ主催講座）

女性のための再就職支援
適職発見!!

- 実施日：10月14日（金）
10月21日（金）
- 参加人数：14日：27名
21日：23名

講座募集時から定員を上回る希望があり、女性の再就職が厳しい状況にあることをうかがわせた。

講座は、グループワーク中心に進行し、参加者同士の交流や情報交換（女性のライフイベントに影響される働き方や、女性であることが影響する職業選択における制限的要素－離婚、子育て、介護など）が十分になされた。参加者同士、女性ならではの悩みを共有し、同性からのアドバイスや意見交換を行うことで、参加者相互のエンパワメントが十分行われた。

年齢構成や参加者の職業経験も多岐に渡り、多様な働き方や多様な価値観の共有も十分でき、充実した講座となった。2日間合計5時間半にわたる講座で、参加者それぞれの価値観に基づく、夢の実現に向けて、具体的なアクションにまで、落とし込むことができた。

企業向け出前講座

- 区内保険会社の出前講座「自分で描く、自律自走のキャリアプラン」
- 実施日：9月30日（金）
- 参加人数：19名（内男性3名）

本企業では、ダイバーシティを推進しているが、女性の管理職比率は依然として低く、多様化するお客様ニーズに応え、企業が成長していくには「女性活躍推進」が重要課題であるととらえており、女性社員向けにキャリア構築に関する研修を実施することになった。キャリアについて基礎知識を学ぶことで、自己分析、考えの整理の仕方、今後の課題もみえ、働くことへの内発的動機付けができた。

ダイバーシティに取り組んでいる企業は少なくはないが、実態としてはまだ進んでいない。一人ひとりが自律自走でキャリアを考え構築していくことの必要性を参加者に伝えることができた。



企業向け講座

- 区内金融会社「ワーキングマザーセミナー」
- 実施日：10月7日（金）
- 参加者：13名

育児休暇中および育児休暇後復職して間もない女性社員向けに、モチベーションをアップ、スムーズに職場に入っていく手助けをするための研修を実施した。

産後女性のヘルスケアプログラムの研究・開発・普及を行う「NPO法人マドレボニータ」のインストラクターをむかえ、①体のリハビリ ②コミュニケーションスキルの向上 ③アイデンティを取り戻す ④職業人としての自分の軸を持つ ⑤ライフスタイルの再構築をテーマとした。

参加者は、同じ悩みや不安を共有することで安心し、参考になる意見も多く聞けたようだった。自己理解を深めつつ、コミュニケーションのとり方や時間を効率的に使うことへの気づきが見られた。



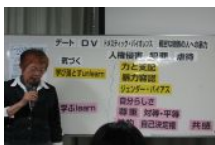
リーブラ主催講座

「デートDV防止教育を学ぶ
一尊重し合う関係づくりとは一」

- 実施日：10月18日（火）
- 参加者：26名

デートDV防止教育とDV加害者更正教育に長年取り組んでこられた、アウェア代表の山口さんを講師に迎えて、若者へのデートDV防止教育の具体的な方法とDVが起こったときの関係者の適切な対応を豊富なご経験から事例を交えてお話しいただきました。講座には、学校・教育関係者や若者の相談に関わる方など支援者が参加されましたが、ビデオを見たり、参加者同士で演習を行ったり、語り合ったり、体験的な内容についてアンケートには94%の人が満足と回答、「具体的で分かりやすかった」との感想が多数寄せられました。

また、本講座をきっかけとしてリーブラで開始する、港区内の学校対象の「デートDV防止教育無料出前授業」について、企画担当者から説明も行いました。



著者が語る話題の本講座

- 飯野由里子さんが語る『レスビアンであるくわたしたち』のストーリー』
- 実施日：10月28日（金）
- 参加者：33名

講師の飯野さんは、本の内容に加え、書いた動機や書いた後の心境、さらに3月の東日本大震災を経て、どのような研究に取り組もうとしているのかを話してくれました。

講座では、自分がどのような存在でありたいかのストーリーを決定する材料や過程、セクシュアル・マイノリティ内部における強制や排除、集団的利益と個別利益の齟齬など、単純化できない問題とそれら読み解くための理論が提示されたため、アンケートでは「難しかった」との声がありました。

一方、「理論の繊細さや重要性に気づくことができた」「レスビアンのことを話す会はとても意味がある」など、セクシュアル・マイノリティ関連の講座をまた開いてほしいとの声も多くありました。回収アンケート19枚のうち、11名が20代であり、13名がリーブラの講座に初参加でした。若い世代がこうした講座に関心があることが伺え、今回の講座が新たな取り組みの一歩となったことを実感しました。

リーブラインターンシップ・
アフターミーティング

- 実施日：10月26日（水）
- 参加者：学生5名

8月に行われた1DAYインターンシップには、様々な大学から15名が参加。講座の満足度が高く、「今すぐには変えられなくても、長い目で世の中を変えられたらいいなと思いました」「内容が充実していた。1週間ぐらい参加したいなと思った」などの声がありました。そのような高い参加意識に対し、①リーブラ事業への若い世代の参加、②学生の居場所作りを目的としてアフターミーティングを行いました。

ミーティングでは、個人的な悩みや生きづらさが共有され、家庭や学校、バイトなどのコミュニティではない場で、人と出会い語り合うことで互いに認め合うエンパワメントの効果がありました。参加者に共通していた他者とのコミュニケーションの難しさや「普通」に生きるって何だろう？というような疑問が、若い世代の持つ悩みであることが見えました。リーブラでは今後継続的に若い世代にこのような場や機会を提供していきたいと思えます。

6. 運営協議会

運営協議会委員より

第6回運営協議会で指定管理者より「3月11日の震災時に帰宅困難者へ施設を開放した」と報告され、担当課長から称賛されたが気にかかることがあった。「女性専用の部屋はあったが、男性専用はなかった」ことである。「男性しかいなかった部屋がある」と説明されたが、それは結果にすぎない。

リーブラは男女平等を推進する拠点なのだから、最低でも女性専用・男性専用・誰もが利用可能とする三種類の部屋を設定する必要があったのではないか。施設運営において男性の視点が欠落しているように感じられた。物事を異なる性の視点から眺めることは難しい。自己が規定する性以外の問題に気付くことの難しさを、改めて認識させられた。

『運営協議会は、区の担当課長・指定管理者・区民で構成されている。』

運営協議会委員 長（ヲサ） 帯異

平成23年度 第7回運営協議会

11月17日、運営協議会が開催されました。

【議題】

- (1) 報告事項
 ①10月の事業報告
 ② フェスティバル2012進捗状況
 ③フォーラム2012進捗状況
 (2) 協議事項
 ①新リーブラに向けての検討
 (3) その他

運営協議会は、センターの適正かつ円滑な運営を図るとともにセンターの事業の企画運営に利用者の意向を反映させるため設置されています。委員の任期は2年で、現在の委員は本年度末で任期を迎えます。

来年度、指定管理は4年目の運営に入り、さらなる事業の発展と充実が求められ、また新リーブラに向けての検討を重ねていく重要な時期に入ります。

これまでの経緯をふまえながら運営協議会の機能強化を図るため、要項の見直しが進められています。

7. リーブラ相談室

心のサポートルーム便り

法務省では、11月14日～20日までの7日間、全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間を実施しました。配偶者やパートナーからの暴力、職場などでのセクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為といった女性をめぐる様々な人権問題についての相談に応じる専門相談電話でした。港区には、女性に限らず人権に関するさまざまな困りごとや問題を相談できる「人権相談」があります。
<http://www.city.minato.tokyo.jp/kurasi/zinken/sontyo/sodan/index.html> リーブラ相談室でも、家族や人間関係などどなたでもさまざまな問題の相談に応じています。

<開室曜日・開室時間>

火曜日 16:00～20:00
 水曜日 10:00～16:00
 金曜日 10:00～16:00
 日曜日 18:00～21:00

03-3456-5771 (専用電話)

※面談は事前にご予約ください。
 電話相談も可能です。ご相談もご予約も、上記の利用時間内に専用電話にてお願いします。

8. 男女平等参画情報 ～女性に対する暴力 災害・女性・人権～

女性に対する暴力は、3月11日の東日本大震災後の被災地でも問題となっています。宮城県警が10月末に発表した統計によると、今年1月から10月までのDV被害相談は1170件で、前年同期より52件増加しました。相談者の大半が女性で、沿岸部の被災者が多く、福島県からの避難者もあり、「震災で職を失った夫が暴力を振るうようになった」など、震災が契機となったケースもあったそうです。内閣府（2011）の調査によると、配偶者から何らかの暴力被害を受けたことがある人のうちどこにも相談しなかった人は約6割に上るとあります。統計上に表れる被害相談の数は、氷山の一角でしかないでしょう。

そのような現実に対し、リーブラでは11月12日～25日、「女性に対する暴力をなくすため私たちにできること～災害・女性・人権～」と題した特別展示を行い、リーブラの一般団体・推進団体、関連団体より、災害、女性、マイノリティ、人権など様々な視点からのメッセージを発信します。また、被災地での女性支援の視点の必要性について、12月3日（土）には「災害と女性・人権リーブラシンポジウム 福島的女性たちの現状と課題」で発信します。全国女性相談研究会による「福島県的女性支援」についての報告や提言、竹信三恵子さんによる「被災下での女性支援はなぜ必要か」という講演の後、パネルディスカッションで女性支援について話し合われます。展示やシンポジウムを通して、女性に対する暴力についてのリーブラからのメッセージを受け取り、共に考え、行動しましょう。



男女平等参画センター「リーブラ」3～5階

発行元	港区立男女平等参画センター リーブラ
住所	〒108-0023 港区芝浦3-1-47
TEL	03-3456-4149
FAX	03-3456-1254
HP	http://www.minatolibra.jp/
施設利用時間	月～土曜日 9:00～21:30 日曜日 9:00～17:00 * 祝日はその曜日に合わせての開館となります。
窓口受付時間	月～土曜日 9:00～20:00 日曜日 9:00～16:00

発行日：2011年11月20日